

Belém Framework for Action
“Harnessing the power and potential of adult learning and education for a viable future”
の概略、翻訳について

2010.4.10

常葉-布施美穂

(日本社会教育学会 前国際交流担当理事)

1. 概略について

全体構成 (本文 17 項目 + annex 添付文書 18 項目)

A 前文 (Preamble) 1-6 ……この行動枠組み (行動指針) を採択した「我々」とは誰か、成人教育の定義、成人教育の重要性

我々=ユネスコに加盟している 156 の国々、様々な市民社会組織・社会的パートナー・国連機関・政府間組織・民間セクターの代表 (全加盟国は 193 カ国、準加盟国 7 カ国---外務省 HP、ナショナル・レポートを提出したのは 154 カ国---Annex)

B 生涯学習に向けて (Towards Lifelong Learning) 7-9 [配布資料の記述で抜けていたため修正]

C 勧告/提言 (Recommendations) 10 ……7 分野について、何をどのような実現のために行動してゆくか (コミットメント) の表明「これらの目的のため、我々は以下のことを実現してゆく」

-成人の識字 (Adult literacy) 11(a)-(h)

-政策 (Policy) 12(a)-(e)

-ガバナンス (Governance) 13(a)-(d)

-財政 (Financing) 14(a)-(e), (f)-(h)

-参加、インクルージョン (包括)、公正 (Participation, inclusion and equity) 15(a)-(i)

-質 (Quality) 16(a)-(f)

-「行動のためのベレン枠組み/ベレン行動枠組み」の実施状況に関するモニター活動 (Monitoring the implementation of the Belem Framework for Action) 17(a)-(h), (i)-(m)

D 添付文書(Annex: Statement of Evidence) ……本文の前提となっている状況・課題認識

-グローバルな問題・課題と教育の問題・課題 (Addressing global and educational issues and challenges) 1-6

-第 5 回成人教育会議以降の成人学習・教育分野での前進 (Progress in adult learning and education since CONFINTEA VI) 7-11

-成人の学習・教育にとっての課題 (Challenges for adult learning and education) 12-18

2. 翻訳（下訳作成）に関して

・ 下訳準備のプロセス：3月の運営会議の出席者を中心に分担して翻訳を作成（荒井容子、小荒井理恵、河野明日香、常葉-布施美穂）、常葉-布施が原稿とりまとめ

・ 大文字で表記されるようなプロジェクト・勧告・宣言・委員会名には「」をつけた。（「成人教育の発展に関するナイロビ勧告」、「ハンブルク宣言」など。ただし国際成人教育会議/CONFINTEA は対象から除いた）

*議論が必要と思われる箇所（主なもの）

・ タイトルについて：議論が必要。

*harness= control and use the natural force or power or something [L] / if you harness something [such as emotion --e.g. anger-- or natural source of energy] you bring it under your control and use it [C] /中国語 「利用する」
スペイン語「活用する」

*viable= a viable idea, plan, or method can work successfully: 'viable alternative / proposition / option / solution etc' 'economically / commercially / financially viable' [L] / something that is viable is capable of doing what it is intended to do[C]

*framework=a set of ideas, rules, or beliefs from which something is developed, or on which decisions are based [L] / a particular set of rules, ideas, or beliefs which you use in order to deal with problems or to decide what to do [C]

・ adult learning and education の訳し方：も統一する必要があるか？
現在、「成人の学習・教育」「成人の学習・成人教育」か「成人学習・成人教育」

・ weの訳し方：「私たち」か「我々」か？

・ To these ends, we commit ourselves to:（項目11-17）の訳し方：同じ表現が繰り返し出てくる重要な表現。とりあえず「これらの目的のため、我々は以下のことを実現してゆく」で統一してある。

*commit=say that someone will definitely do something [Longman]

*commit oneself to (doing)= if you commit yourself to a course of action or way of life, you definitely decide that you will do it or have it [Cobuild]

・ recommendation の訳し方：10,14-a など。とりあえず「勧告」に統一（「提言」の案もあり）

・ empowerment の訳し方：「エンパワメント」か「エンパワーメント」か（とりあえず「エンパワーメント」で統一）

・ inclusion の訳し方：分担者による下訳では、包摂、[社会的]包括[性]、インクルージョンなどが使われていたが、現段階では多少手は加えたがまだ統一はしていない。

・ disability の訳し方：とりあえず「障がい」に統一、（「障害」の案もあり）

・ 以下の表現には日本語併記（補足？）が必要では？

「ノンフォーマル」「インフォーマル」「シチズンシップ」「コントロール」「スキル」「コンピテンシー」
「ガバナンス」「ロードマップ」「エンパワーメント」「インクルーシブ」「インクルージョン」
「インセンティブ」「モチベーション」「アクセス」「リージョン」

・ community learning centers (15-d)に関しては、本文に訳注をつけて日本の場合は公民館に相当することを述べるべき、という意見あり。